

退職記念講演特集に寄せて

国際学部長
近藤 龍夫*

日本と国際社会の結びつき、つながりをより強固に発展させていくことは、二十一世紀の世界の平和と安定、繁栄にとってきわめて重要なことである。この新時代の要請にこたえ、1997年、敬愛大学国際学部国際協力学科が誕生した。

わが学部の使命、目標は、国際協力の輪を広げていくうえで欠かせない人材の育成にある。幅広い教養とグローバルな視野、高度の専門知識を合わせ持つ人材を育てることにある。これは敬愛大学の建学の精神である「敬天愛人」の国際社会における現代的具現化に通じるものでもある。

この使命、目標達成には、言うまでもなくすぐれた指導者が必要である。学部創設に当たり、大学はもとより広く各界から、よりすぐれた教授陣を招聘し、学内教育、研究活動の充実をはかってきた。この草創期を支えて下さった六人の教授が、昨春に続き今春も定年を迎え教壇を去ることになった。

そこで六人の先生方の最終講演をここに収録し、諸先生方の業

* こんどう・たつお Tatsuo KONDO: Dean, Faculty of International Studies.

績を称えるとともに、学部卒業生の思い出、在学生、将来の学部生の教材に寄与できればと考えている。

最後に、六人の先生方に改めて謝意を表するとともに末長いご指導をお願い申し上げる次第である。